



おだやかな季節の訪れを感じる頃となりました。

皆様いかがお過ごしでしょうか。

キャンパス内も新しい年度を迎える準備が着々とすすみ、心おどる雰囲気に包まれています。

さて、国際化推進室より、2010年度後半のニュースレターをお届けします。

この半年も各方面で活発な国際交流が行われました。ご一読いただき、

2011年度は、ぜひ皆様も国際交流の一歩を踏み出してください。



充実した一年でした！

新体制になって早一年。昨年度から引き継いだ事業に新規事業を加え、本学の国際交流がさらに充実し、収穫の多い一年となりました。

新規事業としては、ラップランド大学との学術交流協定の提携、同大学との交換訪問。センター大学やラップランド大学との教員交流及び報告会。教職員・大学院生に向けての英語研修。サンタさんの来山、他部局との共催によるビッグイベント

「クリスマス・インスピレーション」。またフィンランドやデンマークなどからの海外ゲストとの交流等を通して、学生、院生、教職員がさまざまな形で国際交流に参加していただき、本当に感謝しています。

この勢いで国際化推進室スタッフ一同が来年度に臨み、頑張っていきたいと思います。ひきつづき宜しくお願いします！



国際化推進室長 シャロフ・ロバート

おしらせ

山口ライオンズクラブより、国際交流支援として、パソコン＆プリンターをいただきました！

山口ライオンズクラブ50周年事業として、国際交流支援のためパソコン一式が寄贈されました。

国際化推進室に設置しておりますので、留学生支援情報や海外留学情報の検索、国際交流活動などにぜひご活用ください。

国際化推進室には、他にも留学・旅行に関するガイドブックやパンフレット、異文化理解に関する本など、たくさんの資料を取り揃えています。



留学生の皆さん、国際交流に興味のある学生の皆さんは、お気軽にあそびに来てください。質問があれば、室員がいつでも相談にのりますよ！



ニュースレター目次

- | | |
|----------------------------------|-------------------------------------|
| 1 ごあいさつ・おしらせ ……………<P1> | 9 Y&I クリスマスパティーを開催しました。……………<P3> |
| 2 2010年度の地域交流事業 ……………<P2> | 10 センター大学・アンダーソン教授がやって来ました！<P4> |
| 3 2010年度はやまぐちスタディーズ……………<P2> | 11 フィンランド・ラップランド大学との一年間。……………<P4> |
| 4 教職員・大学院生向け英語研修を始めました！…<P2> | 12 クリスマス・インスピレーション in 山口市民会館 ……<P4> |
| 5 2010年度夏期海外語学・文化研修 ……………<P3> | 13 サンタクローズが山口にやって来た！ ……………<P5> |
| 6 ホストファミリー情報交換会を開催しました。……………<P3> | 14 慶南大学校訪問団が日本の給食制度を見学。…<P5> |
| 7 2009年度・2010年度の姉妹大学教員交流 ……<P3> | 15 語学・文化研修、交換留学派遣出発式を開催。…<P5> |
| 8 山口警察署による、留学生の交通安全指導 ……<P3> | 16 2010年度交換留学生在が帰国。……………<P5> |
| | 17 日本の思い出～交換留學生より～ ……………<P6> |



2010 年度の地域交流事業

地域の国際交流を推進するため、本学留学生がさまざまな地域行事に参加したり、学校等を訪問しています。



- ①ほたるのタベ IN 串（串地区交流センター）……「ゆたかな串を育てる会」の皆さんに、柏餅作りや、麦わらを使った昔ながらの「蛍籠」作りを教えてくださいました。
- ②防府ユネスコ小学校（徳地青年自然の家）……第 57 回ユネスコ小学校（防府ユネスコ協会の伝統あるイベント）に参加させていただきました。
- ③山口市観光ボランティアガイド ……………観光ボランティアガイドに本学留学生も参加。デンマークからのお客様を山口市の名所にご案内しました。
- ④大殿ふるさと祭（山口市大殿地域交流センター）焼き鳥や金魚すくいコーナーのお手伝いをしたり、お茶やお琴、昔ながらの玩具遊びなど、日本文化を体験しました。
- ⑤下関市立名池小学校訪問 ……………1 年生～6 年生で構成する 8 つのさくらんぼ班が、様々な記録にチャレンジするイベントが行われ、留学生も参加させていただきました。また留学生は、中国の文化や遊びを紹介しました。
- ⑥餅つき大会（山口ふるさと伝承センター）……餅つきや、つき上がった餅をみんなで丸くこねる作業を初めて経験した留学生も多く、皆とても楽しんでいました。
- ⑦田布施町立麻郷小学校訪問 ……………麻郷小の 5・6 年生が、日本文化を日本語と英語で紹介するコーナー（書道、福笑い、武道など）を準備し、留学生を歓迎してくれました。また留学生は自国の文化や遊びを紹介し、交流を深めました。



2010 年度の『やまぐちスタディーズ』

「やまぐちスタディーズ」は、山口県立大学が交換留学生を主たる履修者として開設している、LOL 科目群の総称です。LOL という言葉は聞き慣れないかもしれませんが、learn on location の略称で、教室での演習形式の授業を踏まえ、さらに学外でのフィールドワークを行うことで理解を深める形式の授業です。

2010 年度には、「生活文化論 b」（前期）、「地域文化論 b」（後期）の 2 科目が、この「やまぐちスタディーズ」の一環として開講されました。

「地域文化論 b」では、津和野町での和紙漉き体験や、下松市での稲穂祭「狐の嫁入り」、仁保の嘉村磯多生家「帰郷庵」周辺の文学散歩、中原中也記念館での学外授業などが行われました。

文・写真/
加藤禎行



教職員・大学院生向け 英語研修を始めました！

今年度の新規事業として「教職員・大学院生に向けての英語研修」が 9 月にスタート。

岡山大学言語教育センターのイアン・ナカムラ教授（米国出身）と広島大学語学教育研究センターのケネス・フォードイス准教授（英国出身）を指導者としてお迎えしました。

前半は「国際学会の発表を意識したパブリックスピーキング」の 3 つの講座を実施。後半は「学术论文の英語によるサマリーやアブストラクト及び国際学会の申請段階に必要とされる英語によるプロポーザルの書き方」に取り組みました。

参加率について少し心配していましたが、教員 51 名、大学院生 18 名、職員 6 名（延べ人数）と、学内でも英語研修のニーズがかなり高いことを実感しました。

2011 年度は引き続き教員や大学院生に対するアカデミックな研修を実施すると同時に、職員を対象にした窓口英語コミュニケーション講座なども企画しています。ご期待ください。



2010 年度夏期海外語学・文化研修 <韓国・中国・カナダ>

■韓国・語学文化研修【慶南大学校】

2010年8月7日～8月28日 学生：10名 引率：シャルコフ・ロバート室長

韓国研修は、慶南大学校のプログラムであるグローバルハンマに参加する形になる。韓国語の授業の他に伝統工芸、韓国楽器の演奏、韓国武道テコンドーなどを体験した。

他にも本学以外の日本の大学やロシア、中国、台湾、香港、フィリピンなど多数の国から57名の学生が参加し、国際色豊かなプログラムであった。また、トウミと呼ばれる学生チューターが様々な場面でお世話をしてくれた。



■中国・語学文化研修【曲阜師範大学】

2010年8月28日～9月22日 学生：8名 引率：梶 建次 主査（国際化推進室）

曲阜は、孔子が生まれ育った町として歴史があり、観光地としても有名な町である。中国文学科の大学院生4名が中国語の授業を、日本語の先生が生活面や学習面のお世話をしてくださった。他にも書道、武術、絵画などの授業や、中国民謡のレッスンも行った。中国の学生がキャンパスのあちこちで熱心に勉強している姿はとても印象的であった。また研修中に上海（上海万博）、北京を訪問した。



■カナダ・語学文化研修【ビショップス大学】

2010年8月7日～8月28日 学生：10名参加 引率：吉本 秀子 准教授（国際文化学科）

この研修の特徴は、宿泊がすべてホームステイであるところだ。大学でしっかり勉強し、ホームステイ先に帰れば習った英語を実践することができる。授業は午前3時間、午後2時間弱とみっちりあるが、その後は、映画観賞や、ツアーがあったりと趣向を凝らしてある。金曜日は授業が午前中だけで、昼からは小旅行が企画されている。また週末はホストファミリーと食事や観光を楽しんだ。ジャパナイトと称したパーティーでは、本学の学生が日本の歌や踊りを披露し、パーティーを盛り上げた。



ホストファミリー情報交換会 を開催しました。

9月16日(木)、ホストファミリー情報交換会を開催。本学留学生のホストファミリー登録者11名(8家族)が参加して下さいました。本学からは三島正英副学長、小田由紀雄副理事長はじめ、関係教職員が参加。昼食を囲みながら交流を深めました。

ホストファミリーの皆さまには貴重なご意見をたくさんいただき、また留学生をいつも温かく受入れて下さり、大変感謝しております。



2009年度・2010年度の 姉妹大学教員交流

11月8日(月)、姉妹大学教員交流報告会を開催しました。これは姉妹大学との学術交流の一環として、本学より姉妹大学へ派遣した教員によるもの。

2009年度にアメリカ・センター大学へ派遣した田中マキ子教授(大学院・健康福祉学研究科長)、2010年度にフィンランド・ラップランド大学へ派遣した吉本秀子准教授(国際文化学部・国際文化学科)から、各交流に関する報告をいただきました。

また3月には今村主税講師がセンター大学を訪問し、特別講義を実施しました。こちらの報告会もお楽しみに！

山口警察署による、留学生の 交通安全指導

11月26日(金)、山口警察署・交通課より、留学生の交通安全指導に来ていただきました。

交通ルールや標識、自転車運転時のルール等、留学生にとっては自分の国と違うこともたくさんあり、むずかしいもの。実技も交えた本格的な指導を受け、長期留学生の姚吉(ヨウキチ)さんは「日本の交通規則がよく分かり、参加してよかったです」と感想を聞かせてくれました。



Y&I クリスマスパティー を開催しました。

12月17日(金)、平成22年度第3回Y&I学生交流事業を開催しました。Y&Iは留学生と日本人学生との交流を目的とした事業を企画しており、今回は「クリスマスパーティー」を開催。留学生チューターの呼びかけにより留学生4名、本学学生8名が参加。お互いの国の「クリスマス」を紹介しあったり、友好を深めたり、楽しいパーティーを通して国際交流ができたようです。



センター大学・アンダーソン教授 がやって来ました！

昨年度に続き、アメリカ・センター大学より教員を迎えました。今回は経済学及び環境経済が専門のデイビッド・アンダーソン教授が12月初めに来学され、公開講座と合わせて5つの特別講義をしてくださいました。

学内特別講義はすべて英語で、アメリカの大学と同じ授業形式で行ってもらいました。どうなるかと少し心配しましたが、教室から溢れるほどの学生や教職員が出席し、アンダーソン教授と英語でのやりとりを通じて、環境問題や環境倫理などについて理解を深めました。

また、菜香亭で公開講座を行い、市民の方にもたくさんご参加いただきました。



フィンランド・ラップランド大学 との一年間。

4月下旬、本学学長以下3名のラップランド大学正式訪問から始まり、10月には国際文化学科・吉本秀子准教授が同大学で特別集中講義、11月には文化創造学科の教授・准教授・学生らが訪問し、国際共同研究の一環として特別講義及び研究協議を行いました。

ラップランド大学からは、12月にコトラ学長以下3名が来学。山口芸術情報センターにてコトラ学長に公開講座をしていただきました。また、この時期に合わせ「クリスマス・インスピレーション」を行い（下記記事）、ラ大学芸術・デザイン学部より招待した2名の教授と院生1名がファッションショーを盛り上げてくれました。



クリスマス・インスピレーション 2010.12.13 in 山口市民会館

12月13日(月)、本学主催の「クリスマス・インスピレーション」を開催しました。これは、本学とフィンランド・ラップランド大学との学術交流協定締結（2010.4.28）を記念に、同大学のコトラ学長訪問団の本学来学に併せて、開催したものです。

（企画：国際文化学部文化創造学科、大学院国際文化学研究科、国際化推進室）

また、「日本のクリスマスは山口から」実行委員会とも連携し、山口市、山口市教育委員会、山口商工会議所、山口日本フィンランド協会の後援を得て、冬の山口を彩るイベントの1つとして山口市民の注目を集めました。

企画にあたっては、フィンランド・ロバニエミ市からの写真提供や本学との共同研究者である同大学マルヤッタ教授グループの作品展示、そしてサンタクロースの来日など盛り沢山の内容に、スタッフ一同大いに奮起しました。

当日は、ご家族連れなど多くの皆さまにご来場いただき、入場者は約1,000名を数えました。



■第1部

山口から新たなクリスマスソングを発信することを目的とし、国際文化学部の学生がプロデュースする「斉藤アキラ」君（県立西京高校3年生）によるクリスマスソングの演奏、また、「サビエルは海から、サンタは空から」をテーマに、水谷研究室を中心とした学生達によるファッションショーを開催。斬新なデザインを身にまとった本学学生のステージに、会場は幻想的な雰囲気となりました。

■第2部

「サンタクロースがやってくる！」と題し、フィンランドのサンタクロース村からやってきたサンタクロースと子供達との交流が行われました。

暖炉のそばに腰かけ見守るサンタクロースを前に、子供達がサンタクロースを歓迎するダンスやキッズファッションショー、大殿小学校合唱部の皆さんによる「トントゥ（妖精）」（フィンランド民謡）の歌などが披露されました。

また、サンタさんへの質問コーナーでは、「サンタさんはどうやって街に行くんですか？」との質問に、サンタは「煙突を歩いて行くんだよ。でも煙突がなければ、どこでもドアで行くんだよ」と応え、子供達は大喜びでした。

サンタクロースからは、子供達に「私はみんなのことが大好きです。心からみんなにメリー・クリスマス」とのメッセージが伝えられ、ラストは「サンタが町にやってくる」を会場全員で合唱。厳かな中にも大きな感動に包まれたステージが幕を閉じました。



■展示ホール

ロバニエミ市のパネル展示（自然・文化・風物等の紹介）、サンタさんへのお手紙コーナー、本学とラップランド大学との共同研究作品の展示、国際文化学科・文化創造学科の教員・学生による、日本及び山口におけるクリスマスとサンタクロースの歴史や文化の紹介があり、多くの市民の方に作品をご覧いただきました。

今回の企画実施にあたり、多くの関係者のご協力をいただきましたことを心よりお礼申し上げます。

★クリスマス・インスピレーションの詳細については、山口県立大学のホームページ「大学紹介ビデオ」（しってる？けんだい）をぜひご覧ください！

サンタクロースが 山口にやって来た！

本学とフィンランド・ラップランド大学との学術交流協定締結を記念し（前ページに関連記事）、フィンランドのサンタクロース村から、サンタクロースがやって来ました。



サンタクロースは山口滞在中、「県立総合医療センター」、「山口赤十字病院」、「野田学園幼稚園」を訪問。たくさん子どもたちと交流を深め、夢と希望を届けました。

温泉が大好きだというサンタクロースは、湯田境界で足湯につかるなど、山口の街を満喫。突然のサンタ出現に居合わせた人々は大喜びでした。

韓国・慶南大学校訪問団が、 日本の給食制度を見学。

2月8日（火）、韓国・慶南大学校より、食品栄養学部の学生19名と教員5名の学術交流団が来山されました。

本学においては、看護栄養学科による歓迎式並びに懇談会を大会議室にて開催。今回の訪問目的である、日本の給食制度などについて質問を受け、意見交換がされました。また本学の給食実習室や食堂を見学していただきました。

その後、給食の現場研修のため、山口市立鴻南中学を訪れ、給食製造工程の見学や試食を行いました。学生たちは日本の給食制度をしっかりと学習し、先生方も大変有意義な訪問になったと喜んで下さいました。



語学・文化研修、交換留学 派遣出発式を開催。

2月3日（月）、平成22年度「春期海外語学・文化研修」5名及び、「交換留学生」5名の派遣出発式を開催しました。



出発式では、江里健輔学長より激励の言葉をいただき、学生それぞれに派遣証書が授与されました。また、派遣学生が決意表明をし、それぞれが留学への思いを改めて実感しました。

【決意表明より一部紹介】

中国・曲阜師範大学への派遣学生、藤井里江さん（国際文化学科3年）は、「留学という貴重な機会をいただきありがとうございます。現地ではやはり第一に語学を伸ばすことを目的に、前半は基本をしっかり、後半には現地の学生と同じ授業を受けられるぐらいまで力をつけたいと思います。不安もありますが、これをバネに自分を成長させ、いろいろなことに貪欲に取り組みたいです」と意欲を伝えました。

【研修・交換留学の日程】

■春期海外語学・文化研修（5名）

※フィリピン国立大学にて
慶南大学校の英語研修プログラムに参加
派遣期間／2011.2.26～2011.3.26

■交換留学

韓国・慶南大学校（2名）
派遣期間／2011.3.1～2012.2.29

中国・曲阜師範大学（2名）
派遣期間／2011.3.1～2012.2.29

中国・青島大学（1名）
派遣期間／2011.3.1～2012.2.29

※（ ）は派遣学生数

2010年度交換留学生(前期・後期)が帰国。

■送別パーティーを行いました！

2010年度の交換留学生10名が、今学期をもって帰国します。

1月26日（水）には、厚生棟・食堂にて送別パーティーを行い、三島副学長、小田副理事長ほか、ホストファミリー、ご近所の方々、本学学生、教職員が約70名集まり、帰国する学生と思い思いの時間を過ごしました。



☆次ページでは、交換留学生からのメッセージを紹介しています！

【帰国する留学生】名前／所属大学／留学期間

- ◆馬 天馳／中国・曲阜師範大学／2010.4～2011.3
- ◆姜 宏偉／中国・青島大学／2010.4～2011.3
- ◆庄 燕／中国・青島大学／2010.4～2011.3
- ◆金 讚頌／韓国・慶南大学校／2010.4～2011.3
- ◆金 娥瓏／韓国・慶南大学校／2010.4～2011.3
- ◆メリー タクタージン／アメリカ・センター大学／2010.10～2011.3
- ◆エビス ムハメティ／アメリカ・センター大学／2010.10～2011.3
- ◆エミリー ケバブジャン／アメリカ・センター大学／2010.10～2011.3
- ◆ジェイコブ ホフマン／アメリカ・センター大学／2010.10～2011.3
- ◆ノエリア コルティヨ／スペイン・ナバラ州立大学／2010.10～2011.3

また会おうね！

日本の思い出

～交換留学生より～

日本で約半年～一年を過ごした交換留学生が、それぞれの思いを綴ってくれました。慣れない国での生活は、やはり大変なこともあったようですが、皆自分なりに日本での楽しみを見つけて、大きく成長できたようです。留学生をあたたかく見守ってくださったすべての皆様に感謝いたします。

■姜 宏偉

私にとって、この一年間が、人生の宝物といえます。萩焼の陶芸や茶道など、日本伝統的なものだけではなく、エアロビクスという現代的なものも習いました。小学校の見学や研究会での学習などを通して、自分の研究テーマは明確になりました。素晴らしい出会いがいっぱいできて、皆さんのお陰で、本当に成長したと思っています。帰国した後、ホームステイや外国人ための中国語援助などを通して、皆さんに頂いた愛を次へ送り伝えたいです。

■庄 燕

時々仲間と一緒にカラオケ行ったり、ボーリングをしたりして楽しい思い出がいっぱいです。留学生送別会が行われ、留学生と学生チューターがもう一度一緒になって、楽しい集まりとなりました。しかし、最後に寂しかったので、泣き出した人もいました。この一年間、毎日毎日全てかけがえのない記憶になります。美しい日本、そして沢山の人の人に対して、ありがとうと言いたいです。また会えると信じています。



■金 讚頌

初めに来たとき心配が色々あった。これから留学生生活をどうするか、そして私がここで友だちと付き合うところがよくできるかななどの問題だった。しかし、私の心配と違い、日本に来て今までは経験することができなかった大切な経験をしたと思う。これは私の人生にとって一番大切な期間だったし、ここで経験して、勉強したことを韓国に帰っても続けて行きたいし、日本で働きたい私にとってはとても重要なポイントになったと思う。



■馬 天馳

同じゼミの友達には勉強以外にもいろいろとお世話になりました。日本の学生と一緒に勉強ができたことは、日本語を学んでいる自分にとってありがたいことでした。休み中でも日本語で会話の練習ができましたし、バドミントン部活の時間には中国語を学んでいる日本人の学生と相互学習もできました。学校でいろいろな活動に参加しました。ホームステイの家族のおかげで日本の文化をよくわかることができました。みんなが温かくしてくれて、本当に嬉しかったです。

■エビス ムハメティ

Coming to a country where I can barely speak the language and getting so much help from people in the international office, and getting so much help from my tutor, I began to realize how important accepting help from others is. I want to thank all for helping me at a time where I could have easily given up.

■エミリー ケバブジャン

I have really changed by coming to Japan. The entire experience had put me outside my comfort zone and I have had to cope with it. I know that I have grown as a person because of this. I could have always relied upon my parents before but suddenly I was in a whole new place and culture and I had to work with my limitations. I feel like I have become a less sheltered person and that I am now more of an adult than when I turned eighteen.

■ジェイコブ ホフマン

There are so many things I don't want to leave behind – my host family, my Japanese friends, the other international students, Hotto Motto – but I have to. I've enjoyed almost everything I can remember about Japan, and my only regret is that I have to leave it all behind. I know it's unlikely, but I hope we can all meet again sometime.

■ノエリア コルティヨ

Generally, all Japanese people are very kind and that made the stay very comfortable. I can not tell everything I lived for five months in a few lines, but I can summarize it as awesome. People helped me to understand many of the traditions and I could live them at YPU.

★スペースの都合上、ここでは全文を紹介できませんでした。全文は国際化推進室ホームページ・留学体験談で紹介しています。ぜひご覧ください！



【国際化推進室ホームページのご案内】

- 本学ホームページ・国際化推進室 では、留学のこと、姉妹大学のことなど、さまざまな国際交流情報を紹介しています。交換留学のコーナー（留学体験談）では、現在姉妹大学へ留学中の学生から届く報告を2か月ごとに更新しています。本学学生がさまざまな国でがんばっていますので、ぜひご覧ください！
- 2011年4月1日より、国際化推進室 English 版をリニューアル予定です。お楽しみに！



【編集・発行】 公立大学法人 山口県立大学 国際化推進室（桜翔館2階）

〒753-8502 山口県山口市桜島3-2-1

TEL/FAX 083-928-3413 E-mail kokusaika@yamaguchi-pu.ac.jp URL <http://www.ypu.jp/>